

平成 27 年 12 月 18 日 (金) 「第 16 回 湿原再生小委員会」が開催されました。

■開催概要

「第 16 回 湿原再生小委員会」が平成 27 年 12 月 18 日 (金) に、釧路地方合同庁舎 5 階共用第 1 会議室で開催されました。

小委員会には、21 名 (個人 10 名、7 団体 7 名、関係行政機関 4 機関 4 名) が出席しました。一般の方々も傍聴されました。

会議の冒頭、第 15 回湿原再生小委員会の発言概要と今後の検討方針について事務局から説明を行いました。

その後、新庄委員長の進行のもと、「幌呂地区湿原再生」・「達古武湖自然再生」について、事務局からの報告とそれぞれに対する意見交換が行われました。



▲第 16 回 湿原再生小委員会 (平成 27 年 12 月 18 日)

1 幌呂地区自然再生について

事務局から「幌呂地区自然再生」について説明を行い、内容について意見交換が行われました。

このようなことが話し合われました。

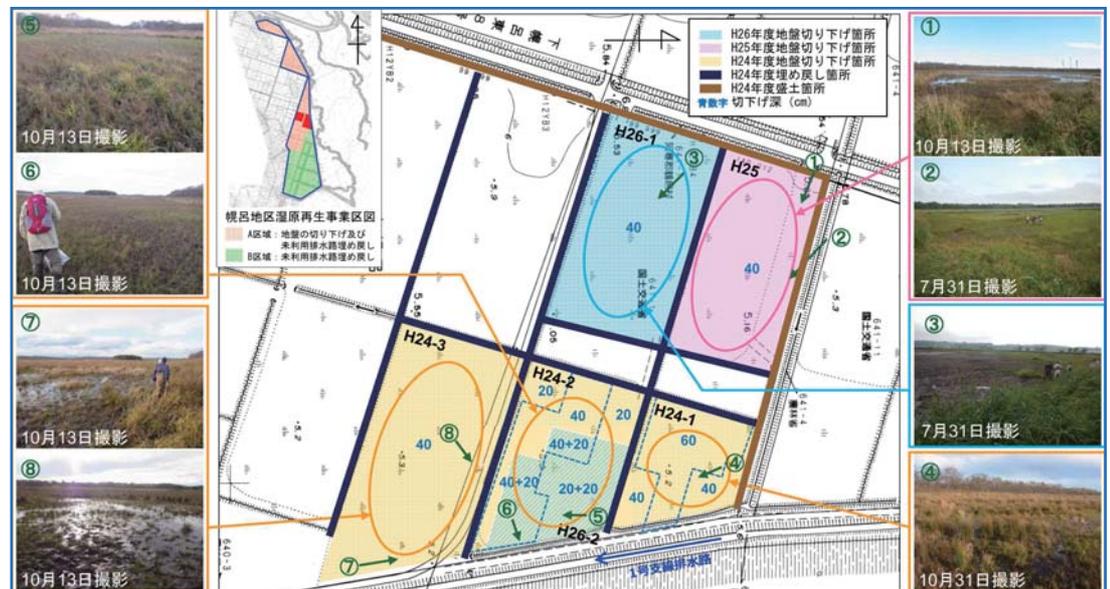
●委員長 ●委員 ●事務局

◆事業実施箇所状況報告 (平成 24 ~ 26 年度掘削箇所の状況)

- 概ね 40cm 切り下げると冠水して、湿地の回復が期待できる。微地形の影響等により部分的にオオアワダチソウが生育した箇所については経過を見ながら今後対応をしていく予定である。
- 幌呂地区湿原再生事業の目標は何だったか？今までの説明を聞くかぎり外来種が侵入しなければ良いように聞こえるが。
- 減少している湿原面積を回復させようとしている。もともと当該地域はヨシ群落が生い茂っている地域であることから、ヨシ群落の生育を最終目標としている。
- 地下水のモニタリング結果をみると、冠水しているエリアが多いと思われる。冠水している状況は目標であるヨシ群落再生にとって良い状況なのか教えてほしい。
- 今後、オオアワダチソウの生育状況によって切り下げを実施するとの事だったが、切り下げによりまた冠水する面積が増えると思うがその辺りをどう考えているか教えてほしい。
- モニタリング結果を見ると殆どの期間で冠水しているが、現地を見ると降雨が少ない時期に地下水位が下がり、地表面が出てきている。この繰り返しが行われることで大きな意味で湿原状態が保たれていると考える。
- 今後のモニタリング結果等

から恒久的に冠水したエリアが出た場合、対策等の検討を実施したい。

- 調査を実施するにあたり、リファレンスサイトを選定している。リファレンスサイトにある湿原植生になることを期待して切り下げを実施している。
- 切り下げた直後の植生と 1 年～3 年後の植生は当然異なる。初めからゴールを目指すのではなく、地下水位の変化をみながら実施すべきである。
- 現在のところ、現地には一年草の草本が多い。今後、多年草の植物が出てきて、リファレンスサイトで構成されている植物が現れてくることを期待する。

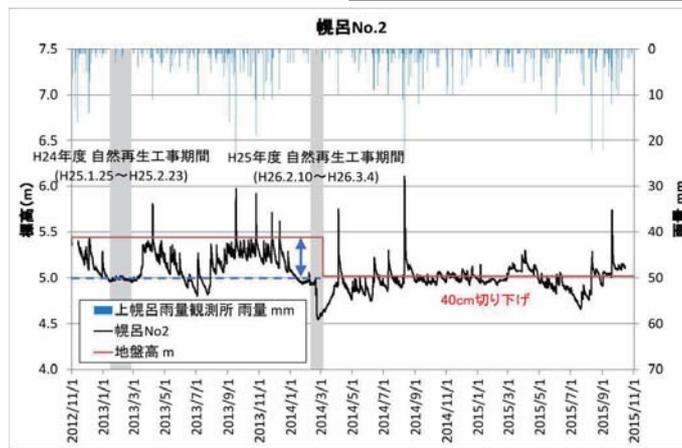
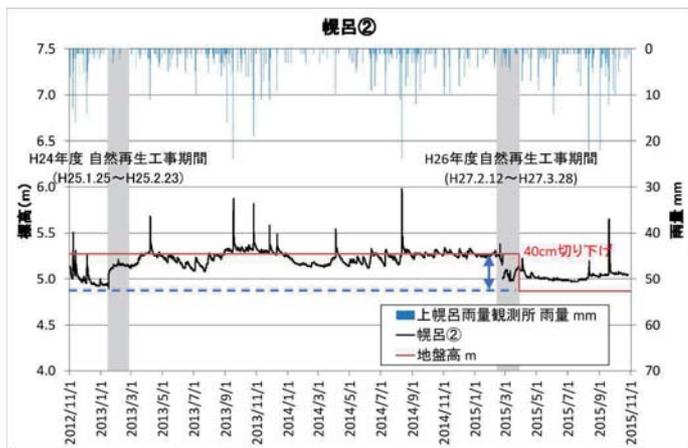
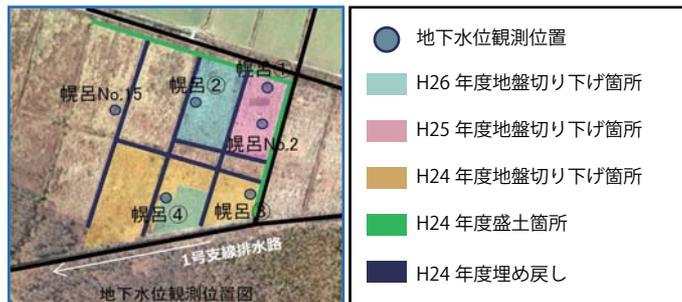


▲各再生箇所におけるオオアワダチソウ抑制に配慮した切り下げ深の概要

1 幌呂地区湿原再生事業（つづき）

◆地下水位の観測結果報告

- 1号支線排水路と事業実施箇所の地下水位との水面差について教えてください。
- 詳細な数値は無いが、1号支線排水路の水位のほうが低い。
- 1号支線排水路の方が低いのであれば降雨や地下水が1号支線排水路に抜ける可能性が高い。H24年工事で事業実施箇所以外に水が流れないように、周辺に盛土工事を実施している。1号支線排水路沿いにも水が抜けないよう、盛土等の対策工事を実施してみてもどうか。



◆外来種（オオアワダチソウ）調査結果報告

- 試掘によって根の混入を確認するとあるが、根があった場合どのような対策を実施するのか。
- H25、H26に実施した箇所付近で切り下げを行っていない箇所にオオアワダチソウが確認されているがこの対応はどうするのか。
- 計画では地下水面を基準にして掘削深を設定している。根の混入等が確認された場合は、1面全体の切り下げ深を深くする。
- 切り下げを行っていない箇所は、昨年までオオアワダチソウが確認されなかった。今年度、オオアワダチソウが確認されたが密度は低い。今後、様子を見ながら適宜対応していく。

1-3. 外来種（オオアワダチソウ）調査結果報告

- ・ オオアワダチソウの自生状況について調査を実施し、その範囲を確認した。
- ・ 掘削範囲のうち冠水や潤潤状態が保持される区域は、オオアワダチソウの侵入はほとんどない。（生育密度1本/m²未満）
- ・ H26年度に再掘削した範囲のうち、1号支川排水路付近は潤潤状態が保持されずオオアワダチソウの侵入が確認された。



2 達古武湖自然再生事業

事務局から「達古武湖自然再生」について説明を行い、内容について意見交換が行われました。

このようなことが話し合われました。

● 委員長 ● 委員 ● 事務局

◆ヒシ分布制御

- ウチダザリガニについて調査を実施しているが、捕獲方法、捕獲時期、捕獲時間、今後定点観測を実施していくのか教

えてほしい。

- 8月の2回目の刈り取りの直前に実施している。捕獲時間は一昼

3 対応方針(案)

今後の調査検討を進めていく上での基礎資料とするため、今後の対応が必要と考えられる課題および発言概要を抽出し、その対応方針を以下にとりまとめました。

項目	発言概要	回答および今後の対応方針(案)
幌呂地区湿原再生について	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング結果より、切り下げた箇所は結構冠水している。常時冠水している状態はヨシ群落にとって良い状況であるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、地下水位の変動により湿原状態が保たれていると考えている。今後、モニタリング結果等で恒久的に冠水するエリアが発生した場合、対応等の検討を実施していく。
	<ul style="list-style-type: none"> 再生事業区域内に設置されている暗渠上は植生が異なっている。 暗渠で地下水が排水されると、乾燥化の原因にもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施している最中に発見された暗渠は適宜対応する。 来年調査を実施し、今後使用される排水路に接続している暗渠がある場合、対応策を今後検討していく。
達古武湖自然再生について	<ul style="list-style-type: none"> 栄養塩流入抑制は、地下水の結果を見ると上手くいかなかったと判断して良いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の調査結果は、天候による振れ幅が原因と認識している。モニタリング数が少ないので来年以降も引き続き継続して調査を実施していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ウチダザリガニについて調査を実施しているが、捕獲方法、捕獲時期、捕獲時間、今後定点観測を実施していくのか教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月の2回目の刈り取りの直前に実施している。捕獲時間は一昼夜(午後4時~明朝9時頃迄)となっている。各地点に網カゴを入れ中に餌(スルメ)を入れて実施している。ヒシを制御し、その他の水生植物を回復させることが目的であることから、制御区での観測は今後も継続する予定で考えている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 昨年の全体構想の見直し時にも意見が出ていたが、「わかりにくい」という意見があった。今日の議事でもそうだったが、全体目標が何だったのか、今年の目標は何だったのか、目標に対してどの程度達成できたのか等の話が前にあると、ずっと内容が入りやすいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の点を踏まえて全体の内容が分かるよう工夫していきたい。

第16回湿原再生小委員会 [出席者名簿(敬省略、五十音順)]

個人 [10名]

植村 滋 [北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター]
 加藤ゆき恵 [釧路市立博物館]
 木村 勲
 神田 房行 [北方環境研究所所長(元北海道教育大学副学長)]
 櫻井 一隆
 清水 信彦
 新庄 興
 新庄 久志 [釧路国際ウェットランドセンター技術委員長(環境ファシリテーター)]
 杉山 伸一 [環境カウンセラー(市民部門)]
 山田 浩之 [北海道大学大学院農学研究院 講師]

団体 [7団体 / 7(6)名]

釧路国際ウェットランドセンター [事務局長 菊地 義勝]
 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会 [芳賀 孝朋]
 釧路湿原国立公園連絡協議会 [釧路市市民環境部次長 吉田 理人(釧路市と兼任)]
 公益財団法人 北海道環境財団 [安田 智子]
 特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ [理事長 百瀬 邦和]
 特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所 [渡會 敏明]
 国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 水環境保全チーム [総括主任研究員 谷瀬 敦]

関係行政機関 [4機関 / 4(3)名]

国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 [釧路河川事務所長 小池 俊夫]
 環境省釧路自然環境事務所 [所長 西山 理行]
 釧路市 [市民環境部次長 吉田 理人(釧路湿原国立公園連絡協議会と兼任)]
 釧路町 [商工観光課 吉田 保香]

資料の公開方法

委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。

http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/kasen/kushiro_wetland/index.html



ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。電話・FAXにて事務局までご連絡ください。

釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

TEL(0154)23-1353
 FAX(0154)24-6839